

## 令和7年度 福岡市教育センター運営委員会 次第

日時：令和7年11月20日（木）午前10時～

場所：福岡市教育センター 303研修室

（一部委員はZoomによるオンライン会議による参加）

### 1 開 会

### 2 所長挨拶

### 3 委員紹介

### 4 教育センター事業説明

- (1) 令和7年度上半期実施状況（各係）
- (2) 今年度の重点及び新たな取組（各係）

### 5 協議（令和8年度の事業に向けて）

- (1) 魅力ある講座内容について
- (2) 研究発表会（長研・G研・研究協力校）  
の在り方
- (3) 1年次研修の在り方

### 6 閉 会

## 令和7年度 教育センター事業について

教育センターでは、福岡市教員育成指標に基づいた研修講座の実施や、個別の課題やニーズに応じて選択できる研修の充実など、教職員一人ひとりの資質・能力を高める研修・研究の推進を図っています。

### 教職員の指導力向上を図る研修について【研修企画係】

取組み 内容	○「福岡市教員育成指標」に基づいた研修講座を140講座（351回）実施。 〔形態内訳〕 対面型(44%)、リアルタイム・オンライン型(41%)、オンデマンド型(15%)					
			今年度(10/15現在)実績		令和6年度実績	
			受講者数	満足度	受講者数	満足度
	経験年数研修	初任者研修1～3年次、中堅教諭等資質向上研修など	2276	3.74	2255	3.74
	職能研修	校長研修、教頭研修、担当者研修など	12517	3.54	13055	3.51
教科等研修	小学校国語スキルアップ、共に学ぶ中学校数学など	1086	3.68	1770	3.63	
課題研修	キャリアアップ研修、特別支援教育の理解と支援など	1703	3.72	2351	3.63	
今年度の 重点 ・ 新たな 取組み	<p>○「福岡市教員育成指標」を全面改訂。今年度末までに校長～教諭を改訂。 ・来年度は、教員育成指標の改訂に伴い講座体系を刷新する予定。</p> <p>○1年次教員に対するアウトリーチ型支援の充実。 ・本人や管理職の相談を受け、研修指導員や長期研修員を派遣。 ・学校経営や授業づくり等の支援を目的とした支援ツール（対話型生成AI「先生AI」）提供。</p> <p>○新任特別支援学級担任・新通級指導担当者を対象とした研修における日常的な相談体制の構築。 ・グループ研修の際に研究会・学校長等から推薦した講師を配置。 ・来年度、新任自閉症・情緒障がい特別支援学級担任対象に限ったメンター制度を検討中。</p>					
成果	<p>○受講者を主語にした、対話を取り入れた研修デザインを心がけ、特に対面型においてグループ協議する際は、主事が自分の言葉でファシリテートを行うようにしている。</p> <p>○研修の受講や受講履歴記録は、「全国教員研修プラットフォーム(Plant)」で一元管理している。学校管理職と教員が対話を繰り返す中で、自分の強みや弱み、果たす役割等を踏まえながら、必要な学びを主体的に行うことができている。</p>					
次年度に 向けて	<p>○各研修形態のよさを生かして講座を計画していく。 ・参加者間のグループ協議を行う研修の場合、効果を高めるために、対面型が望ましい ・1年次研修は、同期との横のつながりを構築する場合でもあるため、対面型が望ましい ・知識を教わる研修の場合、手もとで見られるリアルタイム・オンライン型が望ましい 等</p> <p>○職能研修では、その職や担当者を初めて務める教職員に対する研修内容を充実するなど、研修対象者によって厚薄ある編成を行う。</p> <p>○教員がより個別の課題やニーズに応じて選択できるよう、教科等研修を強化したり、キャリアアップ研修内容の充実を図ったりしていく。</p> <p>○経験の浅い教員等への指導を担当するミドルリーダーを、研修を通して育成する。</p> <p>○教育センター等の研修で学ぶ校外研修と、各学校での校内研修や実践とを往還しながら自律的に学ぶことができる教職員を育成する。</p>					

## 研究推進について【研究支援係】

<p>取組み 内容</p>	<p>○教育センター研究協力校への支援 「新たな教師の学びの姿」の実現に向けて、効率的・効果的な校内研修の在り方を実践的に研究し、その成果をまとめて全市に普及・啓発を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R6・7年度研究協力校4校 多々良中央中、原北中、西高宮小、玄洋中</li> <li>・R7・8年度研究協力校4校 高宮小、田隈小、照葉はばたき小、原西小</li> </ul> <p>[成果] 「校内研修の取組みに関するアンケート」（学校長 R7.5、研修担当者 R7.6）では、効率的・効果的な校内研修を実施できている肯定回答割合（学校長 94.7%、研修担当者 89.3%）が高くなっている。</p> <p>○小学校教科等研究委員会の授業公開 小学校教科等研究委員会と連携し、先進的な授業実践を公開することで、教職員に研究内容を広めるとともに、自律的な学びにつなげる。全25回実施（予定含む）。</p> <p>○各教科等の研修講師人材バンクの作成 「人材バンク」を作成し、各学校に一覧を提供することで、校内研修の充実を図り、授業改善の推進等をめざす。10月末現在119名登録。</p>
<p>今後の 方向性</p>	<p>○自律的な学びにつながる校内研修への支援を強化。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修推進ガイドブック vol.3 の発行</li> <li>・研修担当者研修の内容充実</li> </ul> <p>・「人材バンク」を活用した校内研修の推進</p>

## 研修員による調査研究について【研究支援係】

<p>取組み 内容</p>	<p>○長期研修員による調査研究 「自律的な学び」「多様な学び」「新たな教師の学び」3グループ（各4名）で実施。</p> <p>○非常勤研修員による調査研究（G研） 授業改善領域2グループ（6名、5名）と今日的課題領域（4名）で実施。</p> <p>○教育センター研究発表会の充実 オンライン発表に加え、7年ぶりに集合対面での発表（長研の実践発表）を実施。</p>
<p>今後の 方向性</p>	<p>○「令和の日本型学校教育」を担う教師に必要な資質能力を高めるとともに、本市学校教育を牽引する次世代リーダーの育成に向けて、担当する教科等の本質を追究し、自らの授業改善や本市の教科等研究に生かすことができる研究内容を検討。</p>

## 派遣研修について【研究支援係】

<p>派遣内容</p>	<p>○教職員等中央研修（独立行政法人教職員支援機構） 令和7年度派遣数（予定含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長研修2名</li> <li>・副校長・教頭研修3名</li> <li>・中堅教員・次世代リーダー研修3名</li> <li>・コア研修（2年コース）4名</li> <li>・コア研修（1年コース）2名</li> <li>・教育行政リーダー研修1名</li> <li>・探究を支えるグループファシリテート力協働開発プログラム2名</li> </ul> <p>○特別支援教育専門研修（国立特別支援教育総合研究所）令和7年度1名派遣。</p>
-------------	---

## 施設管理について【管理調整係】

- 緊急修繕工事等実施状況（令和7年10月まで）
  - ・カラス営巣撤去委託（4月）
  - ・本館1階 照明修繕工事（6月）
  - ・屋上雨漏り工事、プロジェクター接続機器修繕（406 研修室）（8月）
  - ・外灯修繕工事（9月）
  - ・サーバー室 空調改修工事（10月） など
  
- 「百道松原中学校（学びの多様化学校）」開校に伴う各種調整
  - ・教育センター新館2階を中心に整備、開校（4月24日）
  - ・百道小学校側臨時駐輪場の整備（4月）
  - ・生徒の居場所づくりのための、2F3Fロビーのレイアウト変更（5月）
  - ・生徒が登校時に時刻確認のための、南側外壁への大時計の設置（7月）
  
- 施設の長寿命化に向けた工事  
福岡市アセットマネジメント推進プランに基づく計画修繕や設備取換 等

工事案件（※は利用者への影響が大きいと思われるもの）

### 令和8年度

- ・新館屋上防水工事（実施設計・工事） ※
- ・外構（東側・南側）改修工事（実施設計）
- ・アスベスト分析調査（新館屋上・外構）
- ・新館空調設備更新工事（基本設計）
- ・406 研修室舞台装置（ワイヤーロープ）改修工事
- ・蓄電池（整流器）改修工事
- ・外壁打診調査 ※

### 令和9年度

- ・外構（東側・南側）改修工事（工事）※

≪ 1年次教員の年間研修ストーリー ≫案

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
キャッチ	<p>教壇デビュー はじまりの春 スタートアップ／基礎を形成する</p>			<p>「先生らしさ」模索する夏 関係性と対応力を深める</p>			<p>力をたくわえ、 自律への扉を開ける秋 組織的視点を持ち、自ら動く</p>			<p>1年目のラストチャプター 振り返りの冬 「まとめ」と来年度の自分設計へ</p>		
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■教育公務員としての心構え</li> <li>■研修オリエンテーション</li> <li>■学級経営・学級（集団）づくり</li> <li>■児童生徒理解、指導の基本</li> <li>■保護者対応の初歩</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>■学習指導の基本</li> <li>■事案対応・生徒指導</li> <li>■安全管理</li> <li>■教育相談</li> <li>■教師としての社会性（接遇）</li> <li>■メンタルヘルス</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>■人権教育</li> <li>■特別支援教育</li> <li>■道徳科</li> <li>■ICT教育</li> <li>■キャリア教育</li> <li>■授業構想・教材研究</li> <li>■組織の中の人間関係づくり</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>■1年の振り返りと自己評価</li> <li>■2年次への計画</li> </ul>		
横の つながり 構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>■グループメンバーとの 出会いを構築 （同学年／同教科／近隣）</li> <li>・自己紹介、classroomづくり</li> <li>・お互いを知り合う</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>■グループメンバーの 関係の深まりを構築</li> <li>・レクリエーション研修</li> <li>・エンカウンター研修</li> <li>※グループメンバーが、励まし 合ったり悩みを相談したり できる関係へと高まること をねらう</li> <li>■グループ間の交流</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>■グループメンバーの 日常的なつながりを構築</li> <li>・授業公開、参観</li> <li>・classroomを活用した 教材や実践の共有</li> <li>・研修外で時には悩み相談も</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>■グループメンバーの 次年度へ継続するつながりを 構築</li> <li>・お互いの頑張りを認め合う</li> <li>・お互いに2年次への 希望をもつ</li> <li>・2年次の実践研究グループ への再編成</li> </ul>		
研修方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■この時期に、1日研修を1回設定してはどうか</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>■体育館を貸し切って、レクリエーション研修をしてはどうか</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>■近隣校で授業参観をし合えたらよいのでは</li> </ul>					

7年ぶり

集合対面での発表  
計7つの発表を準備



福岡市教育センター  
キャラクター  
「ファシリん」

福岡市教育センター

# 研究発表会

## “研究を広げる、研修を進める” 新たな教師の学び

すべての子どもたちの可能性を引き出す学びについて考え、研鑽のきっかけに！

# 令和8年2月10日(火)



## 福岡市教育センター&オンライン (対面発表)



### 対面発表

(14:40~16:40)

〔長期研修員の実践発表・協議〕

#### 自律的な学び

「自律的に学ぶ子どもの育成」  
～学びのAARサイクルを回し続ける  
環境づくりを通して～

#### 多様な学び

「一人一人が学び続ける  
学習指導の在り方」  
～非認知能力に着目した  
手だての工夫を通して～

#### 新たな教師の学び

「教師の学びを促進する  
校内研修の在り方」  
～サーベイ・フィードバックを  
用いた研修デザインを通して～



### オンライン

〔G研、研究協力校の実践発表・協議〕

1部 (13:40~15:00)

#### G研[新たな教師の学び]

「ともに探究し続ける  
教師の在り方の模索」  
～子どもと創るよりよい  
学校サミットを通して～

#### 研究協力校

・西高宮小  
・玄洋中

「子どもが主体的に学習  
を調整する学びの実現  
に向けた授業実践」

2部 (15:20~16:40)

#### G研[授業改善]

「学び続ける  
児童生徒の育成」  
～環境づくりの工夫を通して～

#### 研究協力校

・多々良中央中  
・原北中

「新たな教師の学びの姿  
の実現に向けたアウト  
プット中心の校内研修」

## 【参考資料】

### 教育センター



○所在地	福岡市早良区百道三丁目 10 番 1 号
○建物構造	鉄筋コンクリート 4 階建
○延床面積	7,826 m <sup>2</sup>
○敷地面積	6,481 m <sup>2</sup>
○設置年月日	昭和 24 年 5 月 7 日 (教育研究所) 昭和 57 年 2 月 1 日 (教育センター)

#### (1) 概要

教育センターは、教育に関する専門的・技術的事項の調査研究及び教育関係職員の研修等を行うことを目的として設置され、信頼に任せ得る教職員を育成するために、教職員の資質・能力の向上・活性化を図る研修・研究を充実させることを方針とし、研修事業、及び調査研究事業を実施しています。

研修事業では、教職員の指導力向上をめざし、経験年数・職能・教科等・課題に応じた研修講座を実施しています。

調査研究事業では、学校現場の支援として、教育センター研究協力事業のほか、学校訪問・来所相談での指導・助言を行っています。また、授業力向上支援センターにおいて、教育情報の提供や指導・助言を行っています。さらに、各種派遣研修、研修員等による調査研究を推進しています。

#### (2) 事業計画

##### ① 研修講座の企画・実施

###### <目的>

教職員の指導力向上の充実を図り、福岡市の学校教育を支える人材育成を推進し、福岡市の教育の充実・発展に寄与します。

###### <内容>

福岡市教員育成指標に基づき、「教職員の指導力向上を図るために、それぞれのキャリアステージやニーズに応じて研修を受講できるように、研修内容を整理し、研修講座を構築する」という編成方針の下、経験年数・職

能・教科等・課題に応じた研修講座を企画・実施します。

研修講座の編成は、以下のとおりです。令和7年度は、研修の目的や内容に応じて、「対面型」や「リアルタイム・オンライン型」、「オンデマンド型」などの研修形態を設定しています。

##### ○ 経験年数研修

教職員の経験年数に応じて求められる資質・能力の向上を図る研修を行っています。

- ・ 初任者研修（1、2、3年次）
- ・ 6年次研修
- ・ 中堅教諭等資質向上研修
- ・ 20年次研修、30年次研修

##### ○ 職能研修

職能に応じて求められる資質・能力の向上を図る研修を行っています。

- ・ 校長、副校長・教頭、主幹教諭、学校事務職員、常勤講師や非常勤講師等の職種に応じた研修
- ・ 人権教育担当者や特別支援学級担任、研修担当者等の役割に応じた研修

##### ○ 教科等研修（学習指導）

教科・領域に関する専門的知識・技能を習得し、学習指導力の向上を図る研修を行っています。

- ・ 共に学ぶ各教科等
- ・ 小学校各教科等スキルアップ 等

##### ○ 課題研修

今日的課題等を取り上げ、学校教育の充実を図る研修を行っています。

- ・ ICTに関する研修
- ・ 教育相談に関する研修
- ・ 特別支援教育に関する研修 等

#### ② 派遣研修の実施

##### ア 教職員等中央研修

###### <目的>

学校経営等に資する課題解決力の育成を図り、各地域の中核となる校長、副校長・教頭、中堅教員及び事務職員等を育成します。

###### <内容>

教育行政リーダー、校長、副校長・教頭等、中堅教員、次世代リーダー教員、事務職員等を育成

###### <派遣状況> ※当年度は予定人数

令和6年度（16人）、令和7年度（17人）

##### イ 英語教育海外派遣研修

###### <目的>

当該国の教育活動への参加や実生活を通じて確かな知識の習得及び指導力の向上を図るとともに、その成果を教育委員会が実施する研修等に活用し、福岡市

の英語教育の充実を図ります。

<内容>

英語教育に関する実践的な研究、派遣国の学校での授業実践、教育制度・社会状況に関する情報収集等。

<派遣状況>

令和6年度（教職員支援機構において中止）

令和7年度（教職員支援機構において中止）

#### ウ 国立特別支援教育総合研究所派遣研修

<目的>

障がいのある児童生徒の教育を担当する教職員を対象に、特別支援教育に関する専門的知識及び技術を深め、指導力の向上を図るとともに、その成果を教育委員会が実施する研修内容に生かし、福岡市の特別支援教育の一層の充実を図ります。

<内容>

特別支援教育に関する講義、演習、研究協議、実地研修、課題研究等

<派遣状況>※当年度は予定人数

令和6年度（1人）、令和7年度（1人）

#### エ 福岡市立高等学校教員長期研修

<目的>

学校教育の場を離れ、幅広い知見と豊かな人間性の習得をめざし、これからの学校教育に必要な教員の資質や指導力の向上を図ります。

<内容>

調査研究部門と企業等社会体験部門のいずれかを選択

<派遣状況>※当年度は予定人数

令和6年度（1人）、令和7年度（1人）

### ③ 研修指導員等による指導・支援

研修指導員等が、指導に課題がある教職員に対して指導・助言を行い、指導力向上を図ります。

#### ア 指導に課題がある教職員に対する取組み

##### (7) 研修指導員等による全学校訪問

<内容>

研修指導員等が全学校を訪問し、校長から、教職員の教科指導や学級経営などの指導の状況を聴取。

##### (イ) 指導に一部課題がある教職員に対する支援

<対象>

教科指導や学級経営などの指導において、一部課題がある教職員。

<内容>

校長の要請に応じて、研修指導員が、授業やコミュニケーションなど個々の課題に応じた指導を実施。

施。

##### (ウ) 指導に著しい課題がある教職員に対する支援

<対象>

教科指導や学級経営などの指導において、著しい課題がある教職員。

<内容>

校長の要請に応じて、研修指導員を中心に、人材育成課及び教育委員会事務局担当課が連携し、個別指導を実施。（最長1年間）

##### (エ) 指導が不適切な教職員に対する支援（指導改善研修）

<対象>

知識、技術、指導方法その他教員として求められる資質、能力に著しい課題があり、指導が不適切な教職員。

<内容>

研修指導員が、教育センターにおいて、教科指導や生徒指導、学級経営等に関する研修、社会体験研修などを実施。（1年間：最長2年間）

#### イ 体罰等の不祥事を起こした教職員に対する取組み（特別研修）

<対象>

体罰等の不祥事を起こした教職員。

<内容>

研修指導員が、教育センターにおいて、サービス・倫理研修等を実施。

### ④ 授業力向上支援センターにおける教育情報の提供

学校運営や学級経営、授業づくり等を支援し、教職員の資質・能力の向上を図ります。

#### ア 教育関係図書等

教育関係図書、教育関係資料を収集、保管し、教育実践に役立つ情報の提供を行います。

○ 教育関係図書、教育関係資料の収集、保管、展示、貸出

○ 教科書の保管、展示

#### イ 視聴覚教材

視聴覚教材を収集、保管し、学校における校内研修や授業づくりに役立つ情報の提供を行います。

○ 教育関係VTR、DVDの収集、保管、展示、貸出

#### ウ その他の教育情報の提供

授業づくりに役立つ学習指導案、研究紀要、動画等の提供を行います。

- ホームページや福岡市先生応援サイトによる研究紀要、校内研修資料等の提供

<利用者数・保有数・貸出数>

(令和7年3月31日現在)

	令和6年度
来所者数	5,990人
ネット利用者数	1,556人
図書蔵書数	33,078冊
教育資料保有数	16,680冊
VHS保有数	2,581本
DVD保有数	374本
学習指導案(福岡市)	5,404本
学習指導案(福岡市外)	2,225本
図書・教育資料貸出数	4,354冊
VHS・DVD貸出数	61本

## ⑤ 研究推進の支援

### ア 教育センター研究協力校への支援

<目的>

福岡市喫緊の課題や先進的教育課題の解決をはじめ、校内研修推進及び人材育成を図るために、指定した研究協力校と教育センターが協力してその方途を探り、実践事例を創出し、取組みを全体に展開することで、福岡市教育の振興・充実をめざしています。

<内容>

- 校内研修推進及び人材育成に向けて、具体的な手法を実践的に研究し、その成果をまとめて全市に普及・啓発を行っています。また、学習指導要領の趣旨及び「第3次福岡市教育振興基本計画」や「学校教育指導の重点」等に基づき、子どもたちの学びの転換を推進する授業開発について、学校と教育センターが協力して、校内研修を通じた実践的研究を進めています。

<方法>

- 令和7年度は研究協力校8校が、主題、研究構想、推進計画等を教育センターと学校が協議を重ねながら研究を推進しています。
- 研究期間は2年間を基本とし、その間は予算措置を講じるとともに、教育センターの指導主事等が継続的に協議及び指導助言にあたり、全市に向けて発表や授業公開等を行っています。

### イ 学校への支援(学校訪問、来所相談)

<目的>

各学校の校内研修・校内研究・授業研究等に対して、学校訪問による指導助言及び来所相談に応ずる指導助言を行い、教職員の資質・能力の向上を図るとともに、

各学校の研修・研究の充実を図っています。

<内容>

- 校内研修会・校内研究会・授業研究会等での指導助言(学校訪問)
- 校内研修・校内研究・授業等に関する指導助言、指導上の悩みに関する指導助言(来所相談)
- 配慮を要する児童生徒に対する支援に関する指導助言(学校訪問・来所相談)

## ⑥ 研修員等による調査研究

### ア 研修員による調査研究

長期研修員による調査研究は、「第3次福岡市教育振興基本計画」の具現化や教育の最新動向を踏まえて実現すべき学校教育の姿、授業における普遍的で確かな指導技術等、本市の重点施策や喫緊の教育課題に対する取組みを明らかにし、研究の成果を全市に還元するとともに、「令和の日本型学校教育」を担う教師に必要な資質能力を高め、本市学校教育を牽引する次世代のリーダーを育成することを目的として実施しています。

令和6年度は、長期研修員12名が、指導主事に指導を受けながら、調査研究等を進めました。

年度末に、研究成果物として、教育センター研究発表会を開催しました。

令和7年度の研究領域等は、以下のとおりです。

- 総合教育研究として3つのグループ研究(12名)と授業技術研究を行います。
- 各学校の校内研修への派遣に加え、教育センター研究発表会にて研究成果を還元する予定です。

### イ 非常勤研修員による調査研究(G研)

非常勤研修員による調査研究は、本市の教育課題の解決や学習指導要領のよりよい実施に向けた実践研究を行い、教育実践上の基礎資料の提供を通して、全市へ還元を図るとともに、教育実践に関する専門的知識や技能の向上を目的として実施しています。

### ウ 指導主事による調査研究

福岡市における教育課題並びに福岡県、九州地区、指定都市及び全国の教育研究所連盟等の共同研究課題を解明するため、指導主事等による調査研究を行い、その成果は刊行物を通じて公表します。

- ・ 指定都市教育研究所連盟関係
- ・ 全国教育研究所連盟関係
- ・ 九州地区教育研究所連盟関係
- ・ 福岡県教育研究所連盟関係

⑦ 施設管理

ア 施設の長寿命化

福岡市アセットマネジメント推進プランに基づき、今後も計画的な修繕や設備の取り換え等を行い、適切な維持管理に努めていきます。

- ・本館（昭和 57 年 2 月竣工、平成 27 年度耐震工事実施済）
- ・新館（平成 11 年 11 月竣工）

イ 学びの多様化学校開校（不登校特例校）

令和 7 年 4 月に教育センター新館 2 階を中心に整備された、学びの多様化学校（不登校特例校）「百道松原中学校」が開校しました。本館 4 階の夜間中学校「福岡きぼう中学校」を含めて、各種調整等を行っています。